

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 14日

事業所名 多機能型事業所ふおるて

有効回答者数 11 名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	活動内容とスペースを考慮している。	今後も継続する。
	2	職員の配置数は適切であるか	11	0	・活動内容に合わせて対応人数を増やす。	今後も適切な人員配置を行う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	・小型家具等を利用して利用者に合わせてしきりをつくる。	民家という制約はあるが、可能な限り分かりやすい環境づくりを継続する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	清掃を行い、消毒など清潔にしている。	今後も継続する。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	1	業務のマニュアルやフローを作成している。	今後も継続する。職員全員が集まる機会も増やす。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	0	貴重なご意見として、日々の業務改善、ニーズへ対応を心掛けている。	今後も継続する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	0	ホームページで公表し、改善につなげている。	今後も継続する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	2	関係機関職員、見学を通して意見を頂いている。	第三者委員会はないが、日々外部の方と交流し、意見を取り入れる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	研修希望があれば基本は事業所が参加費等を負担し受けやすい環境を作っている。	今後も継続する。
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	0	状況に合わせて作成している。	今後も継続する。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	0	発達検査等を用いている。	今後も継続する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	利用者様一人一人に合わせた具体的な計画を作成している。	今後も継続する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	日々の振り返りを含めて計画にそった支援を行っている。	今後も継続する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	0	複数名での立案を行っている。	今後も継続する。

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	月、週ごとにテーマを決め、活動内容を変えている。	今後も継続する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	11	0	一人一人に合わせた支援方法を計画している。	今後も継続する。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0	打ち合わせを必ず行っている。	今後も継続する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	0	毎回振り返りを行っている。	今後も継続する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	記録をし、日々振り返るようにしている。	今後も継続する。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0	定期的なモニタリングを行っている。	今後も継続する。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1	児童発達支援管理責任者および支援員が参加している。	今後も継続する。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	適宜、地域の医師、保健師等と連絡を取っている。	今後も継続する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	該当なし			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	該当なし			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	3	保育所等訪問支援も活用し、園との連携を行っている。	保護者からの希望もふまえ、対応していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	1	「かけはしシート」を用いて引継ぎを行っている。	今後も継続する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	3	連絡会等で情報交換、事例検討会を行っている。	今後も継続する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	8	一般園との交流は、現実的には難しい。	機会を作るにはどうしたらよいか検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	0	毎回参加している。	今後も継続する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1	保護者との話をこまめに行っている。	今後も継続する。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	3	月1回程度「おしゃべり海」の形で実施している。	今後も継続し、機会を増やす、創設するなどしていく。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	個別に時間を設け、説明を行っている。	今後も継続する。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	0	丁寧な説明をし、同意を頂いている。	今後も継続する。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1	定期的プラス適宜必要に応じて行っている。	今後も継続する。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	6	おしゃべり会を開催している。	事業所の規模を鑑みると父母の会、保護者会は難しいが、要望があれば可能な限り応えていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	いつでも相談できる雰囲気づくりと周知を心掛けている。	今後も継続する。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	6	毎回活動のねらいを保護者に伝えている。	ホームページで月に1回程度、活動報告を行いたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	0	十分注意している。	今後も継続する。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	十分に配慮をしている。	今後も継続する。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	8	規模を考えると行事を行うことは難しい。	こちらから参加するなど、可能な限り地域との交流をはかりたい。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	0	マニュアル類の作成、定期的な訓練を実施している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	定期的な訓練を実施している。	今後も継続する。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11	0	必ず確認をしている。	今後も継続する。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	0	指示書あるいは保護者からの指示に基づいて対応している。	今後も継続する。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	過去の報告書を職員が見て今後に生かしていけるようにしている。	今後も継続する。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1	外部講師を招いて研修を行った。	今後も継続する。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	3	当事業所ではどのような場合においても身体拘束は行っていない。	身体拘束は行わないが、どのような場合において通常は行うのか職員間での共通理解をはかる。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。